



# 七〇年安保闘争と革命的左翼の任務

(上)

## 4.28沖繩奪還大闘争を組織するために

### 序章 七〇年問題の治安問題化の意味するもの

七〇年問題の治安問題化は、戦後日本社会の深刻な危機を告げるものである。この危機は、単に安全保障の問題にとどまらず、国家の存続に関わる重大な問題である。我々革命的左翼は、この危機を認識し、断固たる決意を持って闘争を組織する必要がある。この闘争は、単に国内の問題にとどまらず、国際的な連帯を求め、世界の平和と正義のために戦うものである。

### 第一章 戦後日本帝国主義の基本的世界政策としての日米安保同盟政策

戦後日本帝国主義の基本的世界政策としての日米安保同盟政策は、日本の安全保障と国際的地位の確保を目的として実施された。この政策は、日米安保条約の締結を契機として、日本がアメリカの保護傘の下で存続することを意味する。しかし、この政策は、日本の主権を侵害し、日本の国際的地位を低下させた。我々革命的左翼は、この政策を徹底的に批判し、日本の主権と国際的地位の回復を求め、日米安保同盟政策の廃止を要求する。

### 第二章 日米安保同盟政策を規定する諸条件の世界史的動向

日米安保同盟政策を規定する諸条件の世界史的動向は、冷戦構造の形成と日本の国際的地位の低下を背景として現れた。冷戦構造の形成は、日本をアメリカとソ連の対立の最前線に押し込め、日本の国際的地位を低下させた。この動向を背景として、日米安保同盟政策は制定された。我々革命的左翼は、この動向を認識し、日本の国際的地位の回復と冷戦構造の打破を求め、日米安保同盟政策の廃止を要求する。

### 第三章 日米安保同盟政策の廃止と日本の国際的地位の回復

日米安保同盟政策の廃止と日本の国際的地位の回復は、日本の主権と国際的地位の回復を意味する。我々革命的左翼は、この目標を達成するために、断固たる決意を持って闘争を組織する必要がある。この闘争は、単に国内の問題にとどまらず、国際的な連帯を求め、世界の平和と正義のために戦うものである。

### 第四章 日米安保同盟政策の廃止と日本の国際的地位の回復のための闘争

日米安保同盟政策の廃止と日本の国際的地位の回復のための闘争は、断固たる決意を持って組織されるべきである。我々革命的左翼は、この闘争を組織するために、断固たる決意を持って闘争を組織する必要がある。この闘争は、単に国内の問題にとどまらず、国際的な連帯を求め、世界の平和と正義のために戦うものである。

約集の報告者として、二年前の闘争の歴史を振り返ると、七〇年安保闘争は、日本の歴史に刻み込まれた重要な出来事である。我々革命的左翼は、この闘争を振り返り、今後の闘争のために教訓を学ぶ必要がある。この闘争は、単に国内の問題にとどまらず、国際的な連帯を求め、世界の平和と正義のために戦うものである。

**金山全学連、秋山前委員長らとの保釈をかちとれ**

【東京7日電】金山全学連と秋山前委員長らとの保釈闘争が、7日午後11時に保釈された。金山全学連は、秋山前委員長らと共に、東京地方検察庁に保釈を求めた。検察庁は、保釈を認め、金山全学連と秋山前委員長らは、7日午後11時に保釈された。

**東大闘争の分離裁判を粉砕し 統一裁判を実現しよう**

【東京7日電】東大闘争の分離裁判を粉砕し、統一裁判を実現しようとする動きが、7日進んでいる。東大闘争の分離裁判は、東大闘争の統一性を損なうと見られており、多くの学生が統一裁判の実現を要求している。統一裁判の実現は、東大闘争の統一性を確保し、学生たちの権利を守るために必要である。

**統一裁判を実現しよう**

【東京7日電】統一裁判を実現しようとする動きが、7日進んでいる。統一裁判の実現は、東大闘争の統一性を確保し、学生たちの権利を守るために必要である。統一裁判の実現は、東大闘争の統一性を確保し、学生たちの権利を守るために必要である。

(四) 日米交渉

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

第三章 危機に立つ日米帝 国主義の全面的攻撃の開始

第三章 危機に立つ日米帝 国主義の全面的攻撃の開始

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

第四章 防衛的対応から 積極的攻勢へ

第四章 防衛的対応から 積極的攻勢へ

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。

日米交渉は、日米安全保障条約の改定問題を中心として、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。この交渉は、日米両国間の関係に大きな影響を及ぼしている。



